

こんにちは 議会です



No 27



▲春らんまん、新年度を迎え、気分新たに頑張ります。 椎八重公園 (写真は文化協会写真部の山下 貴幸さんの作品です)

1・2 月 臨時 議会	3 月 定 例 会	町づくりに、どう生かす 14年度一般会計当初予算88億1000万円 2 P
		総括質疑 「14年度当初予算を探る」当初予算に質疑集中 4 P
		補正予算 一般会計に5千万円の増額補正 8 P
		9人が一般質問「町政」を問う 11 P
		議会傍聴者に聞く ひとことインタビュー 19 P

3000万円

町づくりのために 生かす

3月定例会は、3月6日から22日までの17日間の会期で開かれました。

定例会初日に、「心の通う政治に全身全霊を傾ける」と町長が施政方針を述べました。

そして、今議会には、14年度各予算、13年度補正予算、条例改正など29議案、3陳情、1意見書案が提案されました。

すべての案件を各常任委員会において審議し、議会最終日に採決をした結果、陳情を除くすべての議案を可決しました。

3月定例会の初日に、町長が新年度に向けての施政方針を述べました。

「町政は、町民あつてのもの、町民みんなのものであり、町民中心のものでなければならぬ」と述べ、「活力にあふれ、心温まる住みよい町」を実現するために、都市公園の整備、町営住宅の見直し、公共下水道の整備、

道路の整備などを推進していくことを述べました。

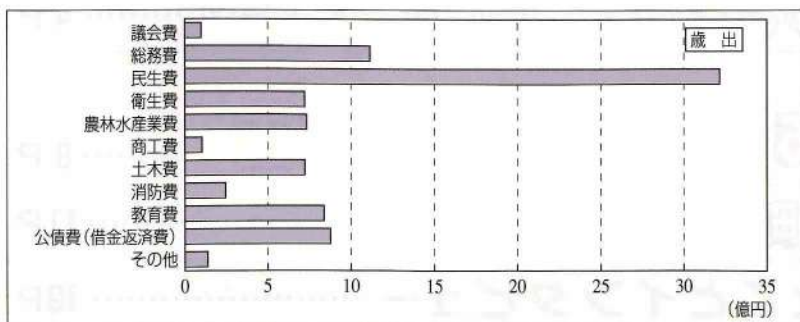
また、一般会計をはじめとする10会計の当初予算が提案されました。

一般会計は、88億1000万円で、昨年度に比べて約11億円、14・4%の増となりました。その主な理由は、多世代交流センター建設の本体工事に取り掛かるためです。

多世代交流センター建設は、14・15年度の2カ年にわたる継続事業で、14年度で行われる事業分は、約9億7千万円です。

国民健康保険特別会計は、21億9636万8千円で、昨年度に比べて約2500万円、1・1%の増になりました。

老人保健特別会計は、



88億

14年度 予算

22億7400万円、昨年度に比べて200万円、0・1%増になりました。
 梶山地区農業集落配水事業特別会計は、5169万6千円で、昨年度に比べて約700万円、16・6%増になりました。
 宮村南部農業集落配水事業特別会計は、5390万8千円で、昨年度に比べて約500万円、

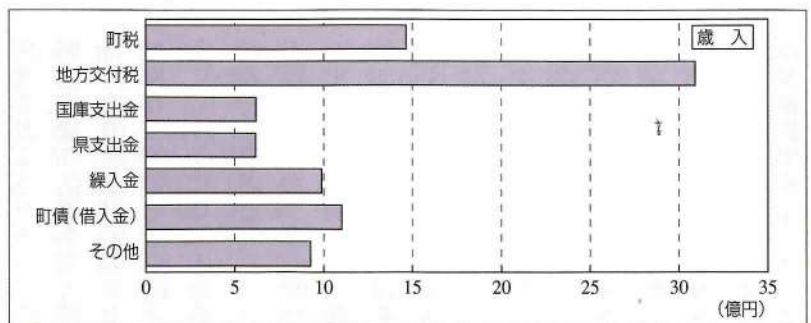


▲多世代交流センター建設予定地

10・1%の増になりました。
 墓地公園事業特別会計は、2565万5千円で、昨年度に比べて約40万円、1・5%減になりました。
 公共下水道事業特別会計は、6億9698万9千円で、昨年度に比べて約2億5千万円、55・1%の増になりました。
 公共下水道事業は、平

成27年をめどに約564ヘクタールの地域を対象に事業を進めています。介護保険特別会計は、12億7739万円、昨年度に比べて約8200万円6・9%の増になりました。
 国民健康保険病院事業会計は、収益的収支で7億1800万2千円でした。昨年度に比べて約1100万円、1・5%の減になりました。
 一方、資本的収支では、収入が、1277万円、支出が、2882万1千円となりました。収支不足額の1605万1千円は、当年度分損益勘定留保資金と減債積立金を取り崩して補てんします。

水道事業会計は、収益的収支で、収入が、3億9624万6千円、支出が、3億5995万9千円でした。
 一方、資本的収支では、収入が、530万5千円、支出が、1億5393万1千円となりました。収支不足額1億4862万6千円は、当年度分損益勘定留保資金などで補てんします。
 これらの10会計の平成14年度当初予算をすべて原案のとおり可決しました。



論点

総括質疑

総括質疑を、3月8日に行いました。平成14年度の当初予算に対して質疑が集中しました。消費税問題、福祉行政、病院事業、図書館の運営などについて、議員から多くの質疑や指摘がありました。

平成14年度予算を探る



▲住民へ与える消費税の影響は？（写真：榊田商店街）

3%時と5%時との消費税の差は大きい

問 平成14年度一般会計予算の歳入と歳出に対する消費税の3%と5%の影響額を伺う。

答 消費税が3%の時の歳入への影響額は71万6千円、歳出は8967万6千円で、5%時の歳入への影響額は117万1千円、歳出は1億4661万3千円である。

児童扶養手当改正の影響は、まだ分からない

問 年収300万円未満で、18歳以下の子供を扶養している母子家庭に対して、所得に応じて児童扶養手当が支給されている。政府は、年収130万円以上の世帯に対しては、年収が1万円増えることに、支給額を2000円減らすと言っている。さらに、別れた夫からの養育費を収入に加え、支給額を減らすとも言っている。

答 この制度改悪による、当町への影響はどの程度か。

問 緊急地域雇用特別創出基金市町村補助金1463万3千円は、これは新規のものか、事業内容を説明を求めます。

答 雇用状況が悪化しているため、雇用を市町村で確保するための補助金である。

問 この事業は、第1次として11年度から13年度までの3年間で取り組み、この時の実績は、11・12年度に学校の耐震度調査委託1626万4千円、13年度に町有林の間伐等

作業委託259万2千円、駅前広場の活用事業と購買力流出防止対策事業144万円に取り組んだ。3年間の合計で2029万6千円である。

14年度から、また新たに3年間の事業で取り組むことになったが、14年度からも、購買力流出防止対策事業として174万7千円、各種福祉相談業務102万4千円、シルバー人材センターの会員加入促進事業400万円、ITリーダー確保事業786万5千円の4つの事業を計画している。



▲町の将来を担う子供たち（写真：植木児童館）

過疎化地域定住 促進奨励補助金の 地域拡大は 考えていない

問 過疎化地域定住促進奨励補助金の13年度実績見込みと、14年度の見通しについて、また、14年度予算における指定地域拡大と指定地域内居住者への適用拡大は、どの

ようになっているか。

答 13年度の実績は、新築及び購入による交付が19件、680万円、転入転居が7件、27万円、入学祝い金が8件、8万円で、合計34件、715万円となっている。

14年度も、これまで通り、交付規程に基づいて交付する予定で、新築及び購入による交付が22件

660万円、転入転居が10件、51万円、入学祝い金が8件、8万円で、合計40件、719万円を見込んでいる。

この事業は、その地域の人口増及び活性化を目的としているため、今後も、これまでのやり方で実施していく。

福祉向上のため さらに検討を

さらに検討を

問 社会福祉協議会補助金1000万円は、対前年度490万5千円減となっている。また、老人福祉費の扶助費も、対前年度530万9千円減となっている。この要因について聞く。

答 一般会計の財源が不足しているのと社会福祉協議会に積立金が2896万1千円程度あることから、積立金から不足分を補ってもらうこととして、減額した。

老人福祉費の扶助費減



▲福祉向上を推進せよ (写真：ボランティア祭)

清流園を バリアフリー化

問 清流園増改築工事は、浴室改装や廊下などの段差解消工事だと思うが、夏場はかなり暑くなるはずなのに、クーラーの設置は検討しなかったのか。

答 清流園側からの要望により、改築工事を計画したが、クーラー設置についての要望はなかった。

今後、宮村小プールの 改修工事も

問 長田小学校のプールは建設することになっているが、宮村小学校の20mプールの改築は行わないのか。

答 宮村小のプール建設は、今後の年次計画にあげられているので、財政が許されるなら、実施されるはずである。

問 13年度の実績に基づいた予算編成であると言いますが、さらに町民に対する福祉の促進をどう考えるのか。

答 介護保険制度については、12年度よりスタートし3年ごとに見直しをするようになっており、14年度が見直しの年となっている。また、それ

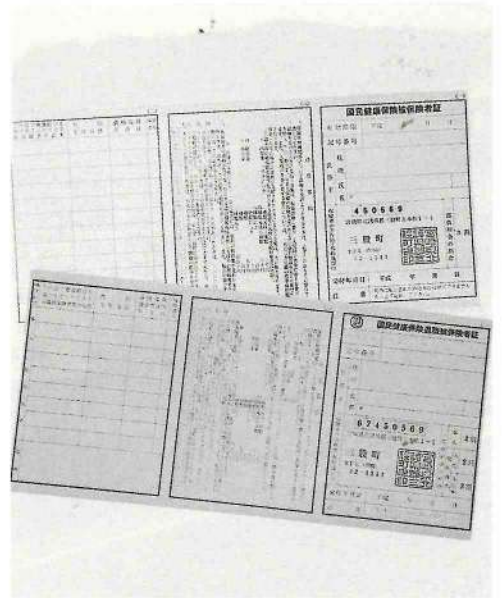
の要因は、13年度の実績に合わせて予算を組んだため減となった。

を踏まえ、民生委員さんを通して、アンケート調査等も行っている。それらを集約しながら14年度中に見直しがされるのではないかと思う。

寝たきり老人等介護手当についても、家族介護慰労事業についても福祉の向上に寄与するための事業であるが、今後、検討をづけ、さらなる福祉の向上を目指したい。



▲過疎化の歯止めとなるか (写真：天神原ニュータウン)



▲健全な国保財政の運営を

国保税の1人あたり

1世帯あたりの額

問 14年度の国保税の1人あたり、1世帯あたりの額、対前年度比較はどうか。13年度の国保決算見込み額、単年度収支見込み額を聞きたい。

答 一般退職の医療分1世帯あたりが、14年度12万4920円、13年度12万8600円であり、対前年度3680円減となった。一方、1人あたりの場合は、14年度6万2650円、13年度6万4066円で、対前年度1416円減となった。

13年度国保収支見込の歳入が、22億378万

2286円、歳出が、19

億9215万1464円

である。よって2億45

73万822円が繰越し

見込みとなり、実質収支

額見込みとなる。また、

12年度の実質収支額が3

億7244万4029円

であったため、実質単年

度収支額は、マイナス1

億2671万3207円

となる。

国保財政も

年々、厳しくなる

問 特別対策費国庫補助

金は、毎年100万円の

予算計上となっている。

決算額は、11年度 91

3万1千円、12年度 7

52万2千円となってい

る。

答 決算でこのような実績

があるのに、当初予算で

はなぜ毎年100万円な

のか。少しでも被保険者

の負担軽減を図るために

も、この特別対策費国庫

補助金の予算を実績どお

りに組んで欲しい。そう

いった検討をしなかつた

のか。

答 特別対策費国庫補助

金は、法定化された事業

に対するものではないた

め、絶対に入ってくる

という約束がない。そのた

め、安全策をとり、毎年

100万円の計上として

いる。

問 100万円の予算に

対し、何倍もの収入があ

る。この事業が始まって

から、本町に対し、この

補助金が交付されなかつ

たことはあるか。

答 この補助金は、平成

5年度から交付され続け

ている。しかし、年々額

が減ってきている。

新薬は、金額も高いが

信頼性も高い

問 平成14年度国保病院

予算の薬品費は、1億6

300万円であるが、安

全で安価な後発品を国保

病院では、どの程度扱っ

ているのか。

答 当病院では、6品目、

13年度の実績で約1%を

扱っている。

問 今後、後発品の使用

の割合を増やしていくの

か。医薬品の品目ごとの

単価表を提出できないか。

答 診療行為は、薬の処

方を含め、すべてを医師

が行っているため、この

場では、はっきりとしたこ

とは答えられない。持ち

帰り、医師と相談したう

えで回答する。ただ、後

発品に対して新薬がある。

新薬は単価が高いが、効

能についての説明がつい

ており、信頼性が高い。



▲町立病院薬局

今後、財源に余裕があ

れば、道路維持費に対し

て、増額補正をする考え

はないか。

答 交付税減額や道路財

源の見直しなど、例年に

ない財源的に厳しい状況

からの減額となった。住

民の要望に応えるために

も、財源が許される限り

補正で対応したい。

文化会館の

維持費は1億円を越す

問 文化振興費の光熱水

費2772万円であるが、

この中には、図書館の分

も含まれているのか。ま

た、委託料6128万1

千円の内訳を示せ。

答 この光熱水費には、

図書館の分も含まれてい

る。そして、委託料の主

なもの、清掃委託料2

377万8千円、舞台技

術者委託料1400万円、

公演委託料2000万円

である。

町民の要望がしつかり

反映されているのか心

配される。

**納税貯蓄組合が
廃止になっても
ほぼ同額の補助金**

問 一般管理費の行政事務連絡交付金3233万5千円の中には、納税貯蓄組合廃止にともない、その納税還付金相当額が含まれているのか。また、増減はあるか。

答 13年度まで納税貯蓄組合に交付されていた納税還付金相当額約2000万円が含まれており、金額的には、ほぼ同じである。

**中央公民館を
教育委員会の事務所に**

問 中央公民館改修工事の予算が計上してあるが、内容を示せ。

答 現在、事務所の場所が、バラバラになっている教育委員会を、中央公民館に集めるため、図書室跡を改修する。

**クヌギ、ケヤキ、
いちいを植える**

問 ふるさとの森おこしは、具体的にどのような行うのか。

答 8人の希望者により、事業を行う。クヌギ4百本、ケヤキ2万本、いちい千本を植える予定。

**なるべく工事に
変更が生じないように**

問 長田小学校の体育館建設工事が、予算の約80%といふかなりの安い価格で落札されているが、今後、変更契約が頻繁に起こる可能性はないか。

答 建設については、設計に従ってもらおうよう、十分注意していきたい。

**より効率のよい
町有林の運営を**

問 町有林の立木の売り払い収入は、当初予算で200万円の収入を見込んでいたのに、補正予算



▲10万冊を目標に（写真：町立図書館）

で110万円も減額になっている。理由を述べよ。

答 町有林の間伐材を主として売り払うのだが、実績が予想を大きく下回った結果である。

問 木材の価格が低迷しているが、新年度の町有林立木の売り払い収入を、100万円計上しているが、この収入を得るために、どのような計画をしているのか。

答 作業道路の開発を行い、より低い経費で、効率よく運営できるようにする。

**ミニバレー用ボールの
設置は考えていない**

問 ミニバレーのボールを設置できるように、体育施設の改修は、できないのか。

答 ミニバレーのボールの設置は、今のところ考えていない。もし、設置するとすれば、床の全面改修となり、多額の費用を要する。現在ある器具の使用について指導したい。

**10万冊の図書を
図書館に**

問 図書館備品購入費の中の図書購入には、何冊購入を計画しているのか。また、現在、何冊の図書があるのか。

答 現在、図書館に約6万冊の図書資料がある。約1万冊を新年度に購入予定である。目標の10万冊は、約5年で到達したいと考えている。

新しい馬を購入

問 馬蹄り保存会の補助金50万円についてだが、現在の保存会の状況を述べよ。

答 馬の購入は、検討中である。しかし、だいたいの目星をつけているので、3月中には購入したい。

**学校備品は、
消耗度が高い**

問 学校の備品購入で、椅子と机の購入があるが、これは、どのような物をどのように購入するのか。

答 児童及び生徒たちの使用する椅子と机を購入する。子供たちが使用するため、消耗度が高い。壊れたものとすぐに交換できるように、常に予備を置いておく。



▲ナラなど多くの広葉樹が生息する自然林

一般会計に

5028万円の増額補正

今議会には、一般会計をはじめとする6会計の補正予算が提案されました。
13年度の決算の見込みや補助金などの決定による補正が主でしたが、13年度の事業の成果などに對して問いただきました。



▲今後、介護問題は、ますます重要に（写真：ディサービスセンター）

一般会計は、5028万円を追加補正し、総額86億9577万4000円となりました。歳入の主なものは、補助金や交付税の決定によるもので、歳出の主なもの、老人保健事業会計繰出金の増と基金積み立ての増です。

その他は、決算の見込みに合わせて減額したものがほとんどでした。

長田小の

プールと体育館は、

町債（借金）で建設

問 2月の臨時会では、

長田小の体育館とプールに對しての国の補助金であったものが、今回の補正で、全額、町債に組替えてある。その理由は、

臨時会後に国の臨時補正が明確になり、通常

の国庫補助には余裕がなく、国庫補助相当額をN T T株の売却益金で無利子貸し付けをし、毎年、返却元金を国庫補助金で補うということになったためである。

介護保険で

住宅改修を申請

問 障害者住宅改修補助

金が、予算額500万円のうち、366万6千円も不要額となっている。この理由・要因を述べよ。

答 当初予算に對して、実績が上がらなかった。それは、介護保険において要介護認定を受けた障害者が、介護保険事業の住宅改修を利用したためであると考えられる。

介護保険の

利用者が増えている

問 寝たきり老人等介護手当を含む老人福祉費の扶助費は、当初予算に對し、約半分の金額が必要になっている。この要因について聞きたい。

答 主な理由は、寝たきり老人等介護手当の利用者が減になったためである。

問 介護保険を優先しているため、その利用者が少なくなっていると思う。利用促進に向けて、職員間での協議・対策は十分実施しているのか。

答 申請者本人の意思によるものであり、介護保険を優先してはいない。利用促進のため、回覧・広報・パンフレット等で町民に周知を図っている。

こんなことも 決めました

条例の廃止・改正、陳情、契約

条例

▼文化施設建設基金条例の廃止

文化施設の完成により、建設基金を廃止しました。

▼国民年金印紙等購入基金条例の一部改正

国民年金業務が国の直接執行事務になるため、関係のある条例を改正しました。

▼特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償の一部改正

国民年金業務が国の直接執行事務になるため、関係のある条例を改正しました。

国民年金徴収嘱託委員の部分を削除しました。

▼保健婦助産婦看護婦法の一部改正に伴う関係条例の整理

男女共同参画社会の施策の一つとして保健婦助産婦看護婦法の一部改正をしました。

保健婦、助産婦、看護婦をそれぞれ保健師、助産師、看護師と言い換えます。

▼職員の育児休業に関する条例の一部改正

育児休業の承認などを

国民年金徴収嘱託委員の部分を削除しました。



▲連日、子供たちでにぎわう上米公園

緩和しました。

▼三股町立公園条例の一部改正

開発行為による公園として、中原小公園を公の施設として供用開始しました。また、公園の使用料の改定も行いました。

認可外保育園に公的支援を

陳情

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

認可外保育園に公的支援を

を国に提出して欲しいという陳情でした。

この陳情は、賛成少数で不採択となりました。

「安心の医療制度への抜本改革を求め、負担増に反対する意見書」を

提出して欲しい

一部採択

国の施策により、医療費の負担増が行われます。それに対し反対する意見書を提出して欲しいという陳情でした。

この陳情は、意見書の一部分を削除して提出しようとする一部採択となりました。

切寄共有林を町に買い取って

もらいたい

不採択

この陳情は、平成13年の3月定例会に提案され、継続審査になっていたものです。

切寄地区組合員の高齢

化が進み、今後の維持が困難であるため、この共有林を町に買い取ってほしいという陳情でした。

この陳情は、賛成少数により、不採択となりました。

契約

長田小学校に新しい体育館とプールを作ります

現在の長田小学校の体育館とプールは、校舎から離れた場所であり、県道を横断しなければ、そこに行くことが出来ません。また、急傾斜危険地域で耐力度にも問題があり、大変危険だということから校舎と同じ敷地内に建設します。

契約金額は、体育館が1億7325万円、プールが6090万円で、全会一致で可決しました。

この陳情は、平成13年の3月定例会に提案され、継続審査になっていたものです。

切寄地区組合員の高齢

化が進み、今後の維持が困難であるため、この共有林を町に買い取ってほしいという陳情でした。

この陳情は、賛成少数により、不採択となりました。

この陳情は、平成13年の3月定例会に提案され、継続審査になっていたものです。

切寄地区組合員の高齢

長田小学校に体育館とプールを建設

1月の臨時議会には、BSE対策のため13年度一般会計補正予算など3議案が提案されました。2月の臨時議会には、長田小学校の体育館とプール建設のため13年度一般会計補正予算が提案されました。いずれも原案のとおり可決しました。

2月の臨時議会で可決した一般会計補正予算は、3億4799万5千円の増額補正で、総額を8億4549万4千円にしました。内容は、長田小学校の体育館とプール建設費を計上したものです。

現在の長田小学校の体育館とプールは、校舎と離れた位置にあり、子供たちが県道を横断しなければ、そこへ行くことが出来ません。また、急傾斜危険地域内に建っており、耐久度も低いのです。不便なうえに、大変危険であることから、校舎と隣接した、用地を新たに購入し、そこへ、体育館とプールを建設する予定です。



▲老朽化が進む長田小体育館

体育館は、鉄筋コンクリート平屋建て、床面積901・75㎡、屋根は粘土かわらぶきの建物です。プールは、鉄筋コンクリート造り、本体は、FRP製です。床面積は、630・7㎡、25mの3コースと補助プールです。この長田小学校の体育館とプールの建設に対して質疑が集中しました。

現在の体育館は？

現在ある体育館と費用は、どうするのか。

プールは、建設が済み次第解体する。その費用は、建設費に含まれている。

現在の体育館を今後

木造体育館の建設は、検討しなかったのか。

た、屋根をかわらにした理由はなにか。

長田地区の活性化、景観、維持などの点を考えた結果、粘土かわらが適しているとした。

景観を考えると、

木材の消費拡大という点から木造が良いのでは。

確かにそうではあるが、最初から「木造の建物を」といった計画で取り掛からなければ、財源の確保など難しい。ただ、出来る限り長田地区の景観に合うように、和風の建物にする。

1月の臨時議会で可決した一般会計補正予算は、139万6千円の増額補正で、総額を82億9610万3千円にしました。内容は、BSE（牛海綿状脳症）対策費を計上したものです。

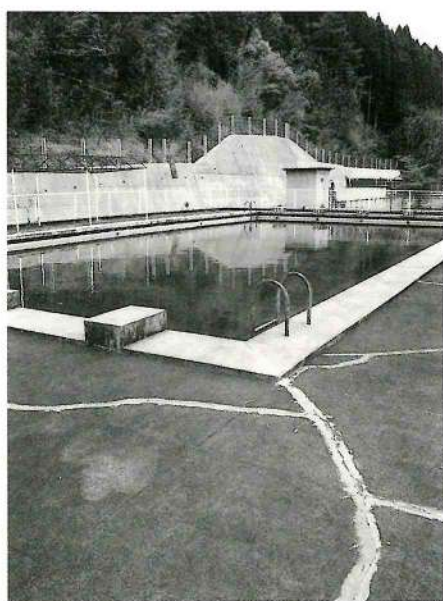
BSE対策で販売価格に補てん

配慮している。

プールの安全対策は？

プールを3コースにしたのはなぜか。また、排水溝の事故対策は。

畜産農家の経営回復・安定を図るため、販売価格に補てんをします。



▲急傾斜危険地域内にプールが

3月議会的一般質問は3月19日・20日に行われ、9人の議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。



▲町のホームページがようやく完成しました(写真:役場電算室)
アドレス: <http://www.town.mimata.miyazaki.jp/>



東村和往議員

町長

ガラス張りの行政で 住民の意志を反映せよ

民意を反映できるように努力する

問 行政が住民の意思に即して展開されるように

するためには、政策形成過程において広く住民各層の参加を求め、住民の意向を反映していくことが必要であり、その対応措置として広報の強化と行政情報の公開が不可欠である。また住民が行政に参加する機会を与えられても行政の現状、問題の所在を十分に知り理解していなければ的確な意見を表明できないのであるから、行政側は可能な限り役所の仕事をガラス張りにすることが求められる。そして広報等による情報伝達を充実して行政の現状や問題点、各種の政策要望、対策面での

メリット・デメリットなど政策決定において考慮すべき点を広く住民に周知させるほか、政策原案、代替案、その他政策決定の基礎的データを、自由に閲覧できる広報システムを備えるべきと思うが町長の所見を伺う。

町長 第4次三股町総合計画の目標達成に向け町民と行政が共通の認識に立って町づくりを推進していかなければならないと考える。これまでも総合文化施設や多世代交流センターの計画等諸々の政策策定に当り、住民の意見を反映させるためアンケート調査、各種協議会を設置して方策を検討してきた。今後も民意を

反映した町づくりを推進していきたい。

ITを活用した行政サービス

問 国をはじめ地方自治体もITを活躍した行政サービスの推進が急務となっているが本町における取り組みはどうか。

町長 国は平成15年までにインターネットを利用した電子政府の基盤構築を目指しており、地方自治体も高度な情報通信技術を活用し住民サービスの向上、行政事務の効率化に取り組むように要請されている。本町ではホームページを3月末に開設予定であり今後ITに関する職員の研修に努め、逐次情報内容の充実を図りながら高度化、多様化する住民ニーズに対応した質の高い行政サービスの提供に努める。

問 支部未加入者に対する広報、行政情報の伝達は不十分な現状であるが対応策をどうするか。

総務課長 納税貯蓄組合が14年度から廃止され代替措置として行政組織の活性化を図るための交付金を計画している。自治活動には立入れないが、支部は行政事務の末端組織であるため、未加入者が増えると情報の伝達不徹底等支障をきたすので今後は支部加入促進に努めていく。

ペイオフ対策は万全か？

町長 指定金融機関が、JAである



別府 久光議員



▲ペイオフにどう対処する（写真：JA三股支所）

保証されるが、定期性預金については一千万円までとその利息の保証とな

問 ペイオフ解禁と町民の地区要望事項について伺う。先ずペイオフについてであるが、本年四月一日より金融機関が倒産、又は破産整理に入った場合、普通預金については来年三月末日までは全額

保証されるが、定期性預金については一千万円までとその利息の保証となる。町の公金を扱う役場として、どのような対策を図るのか伺う。

町長 本町の指定金融機関はJAであるが、JAでは預金者を保護するために、農水産業共同金融機関保険機構があり、JA全国の千百五拾の組織で相互援助制度がある。又本年二月十三日には、県信連より講師を招き勉強会もしたところである。

町長 地区要望事項は確かに多いわけであるが、年度毎順次やっていくようにしている。十三年度の実施状況は、道路関係が三十六件、溝構及び水路関係が四十三件実施している。

収入役 ペイオフ解禁については初めての事で大変心配している。公金をいかに安全に運用する事が出来るか総務省・宮崎県の指導のもと歳計現金、各種基金、預託金があるが、常に金融機関と連携を取りながら、情報交換をはかり、安全に公金運用ができるよう努力する。

収入役 十三年度は各金融機関とも調査済である。

地区要望は反映されているか

問 公金の健全な運用に努めてもらいたい。

次に地区要望事項であるが、十三年度の地区要望事項は全体で二百五十三件で、その内、百五十三件が建設課を中心とした要望のようであるが、十三年度の実施状況はどのようになっているか伺う。

建設課長 試算はしている。全要望事項を消化するには十五、六億かかる計算となる。

問 地区住民から喜ばれるよう効率良く一件でも多く地区要望をしていくよう努力して頂きたい。

町長 今後、努力していきたい。



山領 征 男 議員

町長

中学校の改築は
新規移転し建設すべきでは

基本的には、現在地だが

指摘点も、今後検討委員会で…

問 現在の中学校の現状は文部省の基準からしてどうなのか。

答 必要面積は2845㎡不足している。

学校教育課長 現在の校舎面積は生徒規模からみ

問 教室も色々とやりくりして使っているのが現状だし、また運動場も部



▲県内1位のマンモス校三股中（写真：新1年生の教室）

活動するのに大変な状況である。今のところではとうていゆとりある施設作りは困難である。新天地に夢を求め新規移転する考えはないか。

町長 私は今まで教育の施設作りには意を注いできた。今そのための基金作りをし、検討委員会でも内容について審議を重ねているが平成18年度に着工の考えである。改築は現在地を基本としている。

町長 基本的には財源的にも今の所で建設する方が良いと思っている。
移転改築を視野に入れた検討委員会を
問 今度の中学校改築は町長の真価が問われる大事業である。首長として指導力を発揮すべきである。それが長としての責任である。検討委員会でも移転改築も視野に入れて検討される気はないか。
町長 今後指摘された事も検討委員会で話が出ると思う。色々な事もあるが検討委員会でも充分話しをした。

問 高原町に立派な中学校が出来ている。今中学校もすばらしい学校になりつつある。今こそ明日を担う子供達のため金を使うべきであり、教育が最大の財産である。今後の英断により立派な学校作りを希望する。

不安定な社会の中 雇用相談窓口の開設を

町長 相談状況を見て、検討する



議員 茂 場 的



▲駅舎は、りんどう保育園の園児たちによって、きれいに飾り付けられている

町長 現代社会は、誠に不安定な厳しい状況にある。

不況・倒産・リストラ等による失業と、苦しみ悩んでいる多くの町民の方もいると聞かすが、窓口相談や実態調査を行い、取

り組む考えはないか。

議員 完全失業率が過去最高水準で、大変厳しい雇用情勢となっており、本町では、失業者等の救済策として、緊急地域雇用特別基金を最大限に活用し、雇用機会の創出を図って参りたい。

町長 完全失業率が過去最高水準で、大変厳しい雇用情勢となっており、本町では、失業者等の救済策として、緊急地域雇用特別基金を最大限に活用し、雇用機会の創出を図って参りたい。

この事業の一つに社会福祉協議会で地域福祉推進事業に取り組むことになっており、この取り組みは、相談事業として、町計画しているもので、町

民の生計をはじめ、仕事・家族の問題等の相談業務を行うものである。実態調査は、相談状況を見ながら考えていく。

その後の取り組み組はどのようなになっているか。また、駅前県道の整備について、県との調整交渉は進んでいるのか。

町長 平成6年度から商工会や駅前商店会、駅周辺開発推進委員会等で活性化の方策について、幾度となく行われて来た。

一方、補助事業として実施できないか、県と協議した経緯もあるが、施設の必要性、整備目的等を明確に位置付ける必要があることから、協議を終わっていない状況である。

議員 その後、商工会青年部による整備の提案書が提出され、幹事会で協議したところであるが、現在

読書活動の底辺拡大策の一つとして、多目的ルームを開放し、読み聞かせを実施し、また、「読書感想文・感想画コンクール」を行って来たが、これまでの実績を膨らませ発展させるとともに、インターネットを活用した学校との連携を図り、読書活動の推進を図っていききたいと思う。



▲読書活動の推進を（写真：三股中図書館）



池田 克子議員

子どもたちの健全育成のため 読書活動推進の施策はあるか

町長 国・県の状況をみて検討する

町長 近年の子どもたちは、

テレビゲームやビデオなどが浸透し、本と接する機会が少なくなってきた。良書に触れることで、生きる勇気や想像性・人間性などを回復させねばならない。そこで国は、子どもの健やかな成長に資することを目的に「子どもの読書活動推進法」を平成13年12月12日施行させた。各自治体も施策の責務を課せられています

が、当町の計画は策定されているか伺う。

町長 国・県の策定状況をみながら検討したい。

町長 朝の読書運動を長年取り組んでいる学校では、色々な影響が報告されている。「朝の読書運動」

を推進計画に入れてはいかがでしょうか。

教育長 三股小では朝の読み聞かせ活動を実施しており、他の小学校も関心をもっている。全国では七千七百校が展開している。学校図書の実をふまえて、今後一層の活動を進めていきたい。

町長 本年度は新学習指導要領のもと、総合的な学習の時間に学校図書館の利用があげられ、増書等の予算が国会で成立した。地方交付税に含まれている学校図書館整備費は図

書を増書や施設整備に活用されているか。又、予算の内容については。

教育長 これまで当町の教育予算は、よく配慮されている。今年度は小学校で18学級想定の一学級平均33万円、中学校15学級想定平均54万円であった。平成14年度は小学校40万円、中学校62万円と増額予算が組まれる。

町長 この推進法により、4月23日は「子ども読書の日」と設定されたが、行事や啓発活動の予定は。

教育長 今年は計画出来なかったが、現在、町図書館において「調べる学習」を学級毎に実施させ、利用促進を図っている。

町長 痴呆性老人の在宅介護は、精神的・身体的にも家族は大変だと思ふ。前向きに検討していく。

町長 痴呆性老人の在宅介護は、精神的・身体的にも家族は大変だと思ふ。前向きに検討していく。

町長 徘徊高齢者へ早期発見システムの導入を

町長 自宅介護が重点になっている今、徘徊による介護は家族の心労がつのる。高齢者が徘徊して行方不明になっても、すぐ居場所を発見できるシステムを利用出来ないか。これを利用出来れば、家族や本人に安心感を提供出来、搜索の時間と労力が軽減出来ると思ふが。

町長 痴呆性老人の在宅介護は、精神的・身体的にも家族は大変だと思ふ。前向きに検討していく。



山中 則夫 議員

教育・地域活性化のため 三股小学校の移転を

町長 現在は考えていない

問 町全体の街づくりの

視点から、思い切って三股小を移転し、文化会館の西側にもつてきてはどうか。

町長 三股の中央部で安全な場所であるから移転は考えていない。

問 中央部から数キロし

かない梶山・長田地区がさびれていくが、原因は

町長 学校等の親の送り迎えが大変であるから定住しないと考えている。

問 それなら小手先でなく抜本的な対策を取るべ

きではないか。

町長 自然を生かした取り組みをしていきたい。

**企業の育成・誘致に
取り組んでいるか**

問 人口は増えていくが働く場所が無い。企業育成・企業誘致に真剣に取り組んでいるのか。

企画調整課長 企業の問い合わせは数社きているが立地審議会に申請するところまではきていない。

問 駅前を再開発したいと十数年前から言っているが、何の為に土地を購入したのか。

町長 三股の顔であるので、駅舎改築、道路整備を進めていきたい。

問 地元企業育成の取り

組みの為、又、地域産業の発達地として、三股町単独か、北諸5町で物産館を建設してはどうか。

町長 物産館の計画は今のところ無いが、温泉センターの中に地場物産品コーナーを作りたい。

**郷土会への
出席の目的は**

問 東京・大阪・名古屋の三股会に町長も出席されているが、目的は何か。

町長 以前は就職のあっせん等をお願いしていたが、今は、三股の町政報告をして喜ばれている。

問 せっかく税金を使っ

て毎年行くのですから、三股町の為に何か効果が

あったのか聞きたい。

町長 三股町の現状を報告し、対人間の交流を深めるのが主で、今のところ別に無い。

雇用対策は？

問 雇用対策の取り組みは。

町長 緊急雇用創出基金の活用、ふるさと企業がイド発行、雇用対策の取り組みを行っている。

問 民間と協力して人材派遣センターを民間に設立してもらい、町の行事等の人材の派遣は職員でなく、民間を雇用する方法もあるが。

町長 いろんな取り組みをして雇用創出をはかっていきたい。



▲元気に運動場で遊ぶ子供たち (写真：三股小)

高齢者の生きがいのため シルバー人材センターの建設を

町長 十分に検討したい

原田 重 治 議員



▲よりよい環境で高齢者に生きがいを

町長 高齢者の雇用の場と生きがいを目的に、平成二年に、国・地方公共団体の責務としてシルバー人材センターとして法制化したものである。宮崎県では、国庫補助対象センター数14ヶ所ある。三股町のセンターも平成五年に発足し補助対象団体であり、町村団体としては県下で早い方である。又一市五町では、都城

市・三股町・高崎町だけである。三股町のシルバー人材センターの設置は早い方であるが、施設状況は他市町と比較すると非常に悪いと言える。その一例として綾町のセンターは敷地面積一五九七㎡、建物四七六㎡を平成七年にワークプラザとして建設している。又その他の市町村も建設の支援を行っている。しかし三股町の状況は、施設に関しては、全て自前で建設している。現在のシルバー人材センターの状況を検証すると、(一)敷地が狭い、(二)建物が狭い、(三)車の駐車場が無い、(四)児童の通学路である為、路上駐車すると交通事故の危険がある。建物が小さい為に、(一)会員の作業上の安全教育の場所が無い、(二)会員の研修の会場が無い、(三)他市町村からの研修視察者の受け入れ会議室が無い、(四)事業

資材置場が不足、(五)会員同志のサークル活動の場が無い、(六)屋内作業を行う作業場が無いので障子張り・フスマ張りの要望に応えることが出来ない。以上の問題をかかえているシルバー人材センターからの要望として、当面の対応として多世代交流センターが建設された後、現在の老人福祉センターを貸して頂きたい。その後、ワークプラザなる他市町に負けない施設を作って頂きたいと言う要望であるが、高齢者に生きがいを与えることによつて健康な高齢者が増えることにつながると思う。町長の所見をお聞かせ願いたい。

町長 県下のセンターを見るとどこもそれなりの施設建設に役所が手を貸しているのは事実で、今言われた、広い場所、施設の充実を充分考え検討して行きたい。

ムダな開発型から 福祉中心の政治へ

町長 必要性がある事業をしている



中村力雄 議員

しているが山田町では5億円で建設され、これでも十分に耐えられる。半分の5億円を町民生活に密着した公共事業に使うなら町内経済の活性化につながるのではないかと。建設時期も先延ばししても検討すべきである。

仕事と雇用創出は

進しており、どの事業も必要性のあるものが計画され年次的に予算行使を執行している。

入札制度改革 (分離・分割)

びしくなる一方なので財政に対する意識の改革をして対処していかなければならないと思う。

を検討し、可能な限り分割発注に努めている。

過疎地域対策問題

過疎地域の人口減少防止と地域づくりのため、規則を改正して指定地域内の該当者の家屋の新築および購入の交付金の適用拡大充実を実施する考えはないか。

過疎地域の人口減少を防止するとともに住民の増加と定住化をはかり快適で豊かな地域づくりに寄与するために、この制度を実施してきている。しかし過疎地域内のすべての住民を対象にすれば地域外の住民との均衡が保たれない。本来、地元定住化のための施策であることから地元住民は対象外としているもので、規則の改正は考えていない。

深刻な経済不況を打開するには、大型大規模公共工事、ムダな開発型の大規模公共事業政治を転換し、福祉中心の政治、福祉中心の予算に切り替えることが、今強く求められていると思うが。

国においてはきびしい雇用失業情勢に対応するために雇用機会の創出をはかっている。

本町においてもこの制度に基づいて緊急地域雇用創出特別基金の活用をはかりながら雇用対策を講じている。

温泉施設計画を

見直せ

温泉施設に10億円をかけて建設を進めようと

た公共事業に使うなら町内経済の活性化につながるのではないかと。建設時期も先延ばししても検討すべきである。

すべての事業について議会の承認を得て計画実行しているもの。多世代交流センター(温泉)についてもその都度議会に諮って事業を推進している。多世代交流センターは子供から大人までの交流の場として、また健康増進の場として、多くの町民が期待を寄せられている施設である。

事業の見直しは総合計画の実施計画を毎年度見直し、検討する中で行っており、行政は町民の福祉のために事務事業を推

生活に密着した地区要望は建設課だけでも百五十一件、見積予算額は十四億二千六百万円ということだが、建設課の十四年度地区要望の当所予算額は十三年度比マイナスイ千四百万円の一億円。町民の立場に密着した公共事業に優先して予算を回せば、町民の暮らしに役立つだけでなく同時に仕事雇用を増やすことになると思うが。

平成十四年度の予算編成作業については地方交付税の削減、道路財源の見直し、公債費の増加等、非常にきびしい予算編成作業が行われた。年度途中財源の許す範囲で補正予算も考慮している。財政事情は年々き

本町での入札制度の一定の改革は桑畑町長になって実現していることであり、評価する。さらに、入札契約制度の公正、公明で町内業者育成と町内経済の活性化を図る改革を実行する考えはないか。

公正・公明で町内業者と町経済の活性化を図る点からも分離分割の実行が強く求められている。

町長 入札制度改革について

入札制度改革についてできる範囲内で見直し改革を現在まで行ってきた。公共工事分離分割の発注については本町として以前から推進しているが、分割については工費、ランク、補助事業としての妥当性など

ひとこと インタビュー



堂領 敦子さん (谷)

議会を傍聴された方にインタビューをしました。
今回は、谷の堂領敦子さんに傍聴した感想などをインタビューしました。

町のオリジナリティを引き出した町づくりを

「これまでに何回程、傍聴をされましたか。」

3回です。議会の傍聴が、女性だけで構成されたグループ「いきいき銀杏ネット」の年間計画の中に入っていたので、それに参加する形で傍聴しました。

それに、個人的にも議

会に対して好奇心がありました。ストーリーカーやセクハラなど、現在もなお

弱い立場を強いられる女性のことに、もっと取り上げて欲しいと思っていました。

「傍聴しての感想を、お聞かせください。」

国会のテレビ中継を見

ることがあるのですが国

会も町議会も基本的には同じように感じました。

議会を傍聴することは、面白いと思うのですが、議会の傍聴には、行きにくい印象があります。

もっと多くの人に傍聴に行ってもらうためにも、議会の様子を役場のロビーにあるテレビで放映

したり、女性だけを対象にするなどの企画を練ってはいかがでしょうか。
「議会、行政に対しての要望などはありますか。」

議員の方々には、情熱を持ち続けてもらいたいです。自分たちにも情熱は、必要ですけど、町民の代表である議員の方々の言葉には、力があります。体温を感じ取れるような言葉で町を良い方向へ導いて欲しい。

町のオリジナリティを引き出して、三股町ならではといえる町づくりをして下さい。

ご存知ですか？

会議の原則⑤

過半数議決の原則

過半数議決の原則は、民主主義の会議運営上の基本ですが、何が故に妥当であるかは明確ではありません。ただ、常識的には、多数が正しいとすることは一応正しいものとみてさしつかえないとするのが、人類多年の経験から得られた結論で定説であるといえます。

過半数議決の原則に例外があります。単に過半数議決だけでは、足りないとする場合に、特別多数議決の要求が出来ます。これは、法律上特別の多数を要求するものを指し、この場合、3分の2以上、または4分の3以上の同意が必要とされます。
また、特別多数議決の場合は、議長も表決権を行使しなければなりません。

議会を傍聴してみませんか

次の本会議は、6月上旬の予定です。
くわしくは、議会事務局まで 52-1111

三股町 文化協会

交流が広がる文化
行事に積極的に参加を

会長 山元 六男さん



協会の発足は

昭和57年2月に、町内で地味に文化活動をしていた人たちが、結成大会を開催して発足、今年で20年目になります。

発足当時は、舞踊芸能、書道、絵画、生花、陶芸、郷土芸能など25団体により構成されていました。各部門それぞれ、日々学習に励み、現在では、写真、彫刻、短歌、俳句、郷土史研究会などが加わり、78団体となりました。

各部会の活動は

各部会は、それぞれ独立していて、特色ある活動をしています。

郷土芸能保存会は、地域での祭り奉納、祈念行事への参加や、小・中学校での伝授指導をし、郷土史研究会は、「ふるさとみまた」を毎年発行しており、今年の11月には、20号を発行予定です。

このように、各部会ごとに、1年を通じて、学習会、発表会、研修会などが計画され、技能向上のため、がんばっています。

学習の成果は

(一) 毎年11月に加入団体による芸能発表会を開催します。今年も、第16回発表会を文化会館で開催予定です。



(二) 早春の3月、会員の書道、絵画、陶芸、手工芸、写真、生花、短歌、俳句などの「文化合同展示会」を開催し、1年間の学習成果を展示して多くの皆さんから批評をいただくことにしています。

町主催行事への参加は

町主催で行われる各種行事や4月の早馬まつり、文化の祭典など1年を通じて参加、活動しています。また、各地区のイベントでも活用していただきたいと思っています。

会員の募集は

趣味と特技を生かし、毎日を楽しんでみませんか。初心者大歓迎です。部門別など詳細については、次にお問合せください。

1、三股町大字樺山4124〜7

TEL 52-4391

会長 山元 六男 宅

2、三股町教育委員会

生涯学習課(文化会館内)

TEL 51-3462

編集後記

春爛漫の3月、美しい桜の開花が例年に無く早いこれも地球温暖化によるものと言われる。又杉花粉による花粉症、メダカの不めない川、どれをとっても戦後五十数年の間に発生した異変である。人間の身勝手とでも言うか快適な社会を追求するあまり、その後遺症として発生したものと云わざるをえない。しかし私共は、この美しい地球をそのまま汚し続けてよいものか。ようやく気が付き、きれいな水の流れる川、緑深い森、きれいな空気を取り戻そうと人間の英知を結集して確実に一歩一歩と歩き始めたと言える。今年も若人達のたのしい巣立ちがあり、三股中学校の卒業式に出席させて頂き、毎年の事であるが感動の連続だった。特に今年の卒業生は、一人として不愉快な気持ちをいだかせることなく、厳粛のうちに式は進み、式場退場時、先生に対する卒業生の感謝の涙、先生の感激の涙、この光景を目のあたりにし、未来は明るいと感じたと同時に、この美しい山河をとり戻し守ってくださることを確信し、すがすがしい気持ちになった次第。

(原田)